

▼ルプキネス カプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】ボクロスポリン Voclosporin 【分類】免疫抑制剤 [CNI]

【単位】▼7.9mg/Cap

【常用量】47.4mg/日=1回23.7mg (3Cap) を1日2回 [適宜減量]

eGFRが60mL/min/1.73m²未満で投与開始時から20%超低下した場合、1回7.9mg (1日量として15.8mg)を減量し、減量後は2週間以内にeGFR値を確認し20%超の低下が持続する場合はさらに1回7.9mg (1日量として15.8mg)を減量する (1)

eGFRが60mL/min/1.73m²未満で、投与開始時から30%超低下した場合は投与を中止 (1)

【用法】1日2回

【透析患者への投与方法】

【保存期CKD患者への投与方法】腎機能が悪化するおそれがあるため、eGFR45mL/min/1.73m²以下：投与の必要性を慎重に判断、eGFR30mL/min/1.73m²未満：可能な限り投与を避ける、やむを得ない場合は1回15.8mgを1日2回 (4cap/日) (1)

Ccr30未満でのAUCは1.74倍 (1)

【特徴】T細胞においてシクロフィリンと複合体を形成しカルシニューリンに結合することでカルシニューリンを阻害し、リンパ球増殖、T細胞サイトカイン産生、T細胞活性化表面抗原の発現が抑制され免疫抑制作用を示す。シクロスポリンの分子内のアミノ酸残基の側鎖が変換したもの。軟カプセルで内容物は無色～黄色の澄明な液又は半固体。ループス腎炎に適用される。

【主な副作用・毒性】肺炎・胃腸炎・尿路感染などの重篤な感染症、AKI、GFR低下、高血圧、貧血、頭痛、帯状疱疹、歯肉増殖、脱毛症、多毛症など

【安全性に関する情報】過量投与で振戦、頻脈の出現報告 (1)

【吸収】ka=0.190/hr (1)

【F】

【tmax】1.5hr (1)

【代謝】主としてCYP3A4により代謝 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率0.25% (1) P-gpの基質 (1)

【CL/F】41.2L/hr (1)

【t1/2】14hr (1)

【蛋白結合率】96.97% (1)

【Vd/F】Vc=34.4, Vt=2120 L/body (1)

【MW】1,214.62

【透析性】資料なし (1) 除去されない (5)

【O/W係数】LogP=6.23 [1-オクタノール/水系] (1)

【相互作用】ケトコナゾール併用でAUC 18.55倍 (1) 中程度のCYP3A4阻害作用を有する薬剤と併用する場合は1日量を23.7mg (朝15.8mg、夜7.9mg)とする (1) P-gp, OATP1A1/1B3を阻害 (1)

【肝障害患者への投与方法】重度の肝機能障害では可能な限り投与を避ける (1)

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20241017

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。